

## は　じ　め　に

これは、第5回加速器セミナー“OHO '88”の講義ノートです。

これまでの4回にわたるセミナーで、ソフトからハードまで加速器全般を概ねカバーしたという事で、今回は又振り出しに戻し、加速器とはどんなものであるかというテーマを選びました。特に電子の円型加速器と線型加速器を中心に、それらの特徴が詳しく論じられます。又、これらの講義を補足する様な形で、ロスアラモス国立研究所前加速器部門 Head R. A. Jameson 氏に、“高輝度加速器”というタイトルで話をしてもらいます。

この外、これまでのセミナーに取り上げられなかった“放射線遮蔽”と、加速器の応用の一つである“放射光利用”をトピックスとして用意しました。

1984年に第1回の加速器セミナーが始って以後も、多くの若い有能な研究者が研究所スタッフとして加わっておりますが、今回の講師陣はその道のオーソリティーと、これら若手のスタッフで構成されております。各講師には日常の業務の合い間に、この講義ノートを書いていただいた事を深く感謝致します。

この他に、夜話として、日本における強収斂加速器の草分け的存在である放射光光源主幹富家先生に、“電子円型加速器35年”という興味あるお話をお願いしました。

セミナーの主催は、財団法人高エネルギー加速器科学研究奨励会です。同会のスタッフ、特に武藤事務局長には、セミナー参加者の事務手続、セミナースケジュールの段取り等様々な面で貢献して頂きました。ここに深くお礼申し上げます。

1988年8月

OHO '88 世話人グループ

(文責・高山)